

脳梗塞、一過性脳虚血発作の治療のため当院脳血管内科・脳神経内科に入院された患者さん・ご家族の方へのお知らせ

現在、脳血管内科/脳神経内科ではバイオバンクご協力者からいただきました検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

虚血性脳卒中患者における Ala620Thr 変異に伴うプラスミノゲン異常症の臨床的特徴の検討

【研究対象者】

2016年1月1日から2019年12月31日までの間に急性期脳梗塞/一過性脳虚血発作の診断で国立循環器病研究センター 脳血管内科/脳神経内科に入院して治療を受けられた方。

【利用している検体・診療情報等】

（検体）血漿、DNA(本研究では Ala620Thr 変異の有無のみを調べます)

（診療情報等）年齢、性別、発症日、入院日、身長、体重、既往歴、生活歴、家族歴、発症前内服薬、発症前 modified Rankin Scale : mRS、来院時神経所見(NIHSS)、超急性期の治療内容と治療経過 (rt-PA 静注療法、緊急血行再建術)、治療後 NIHSS、入院時/入院中の血液検査所見、入院時/入院中の画像検査所見(頭部 CT、MRI、脳血管造影検査)、退院時内服薬、退院時神経所見(NIHSS)、退院時及び発症3ヶ月後 mRS、発症3ヶ月以内の脳卒中再発の有無

【利用の目的】 (遺伝子解析研究：有)

プラスミノゲン活性/抗原量の測定、プラスミノゲン異常症の原因となる遺伝子変異(Ala620Thr 変異)の有無の解析を行い、プラスミノゲン異常症が虚血性脳卒中に与える影響について解明することを目的としています。

【利用期間】

倫理委員会承認日より2023年3月31日まで(予定)

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：脳血管内科 部長 古賀 政利

研究内容の問い合わせ担当者：脳血管内科 担当医師 鴨川 徳彦 / 吉村 壮平

電話 06-6170-1070 (代表) (内線 60288) (応対可能時間：平日9時～16時)

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】(応対可能時間：平日9時～16時)

電話：06-6170-1070、ファックス：06-6170-2179

Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp